

# 2014年度定期総会 各単組の連携強化を



## ～ 政治情勢を見極めた活動を ～

10月26日、自治労会館3Fにおいて、自治労社会保険関係労働組合連合北海道地方本部2014年度定期総会が開催され、代議員、傍聴59人が参加。総会では、一年間の総括と次年度へむけた取り組み方針、新役員体制などを確認し、3単組の連合体としての取組課題について意思統一がされた。

# 自治労 社保労連北海道

発行  
〒060-0806 札幌市北区北6条西7丁目  
北海道自治労会館  
自治労社会保険関係労働組合連合北海道本部

## 2014年度 新執行体制

- 執行委員長 山上 直 久 (札幌北)
  - 副執行委員長 滝澤 伸 弘 (事務C)
  - 長谷川 久 晃 (旭川)
  - 磯部 晋一郎 (協会けんぽ)
  - 書記長 西川 和 也 (新さつぼろ)
  - 書記次長(組織部長兼務) 吉田 毅 (函館)
  - 鈴木 祥 高 (協会けんぽ)
  - 財政局長 三宅 隆 平 (札幌北)
  - 組織部副部長 木田 利 枝 (新さつぼろ)
  - 千徳 雅 宏 (事務C)
  - 教宣部長 岡本 恵 実 (新さつぼろ)
  - 執行委員(ブロック担当) 西田 匡 泰 (旭川)
  - 吉川 和 志 (苫小牧)
  - 濱田 直 彦 (釧路)
  - 高橋 勇 紀 (岩見沢)
- よろしくお祈りします!!

総会は、冒頭岩執行委員長より「弱者切り捨ての政治について気付かないうちに行なわれている。弱者切り捨てを許さない取り組みが労組として重要であるので、運動提起があつた場合は協力いただきたい。職員賃金の問題では給与削減が国家公務員に準じた形でされているが、今後の状況を見極めながら自治労・公務労協に結集して取り組みを進めていきたい。自主福祉活動等も大切な重要な取り組みであり、組合員と家族の生活を守る運動を展開するので各分会からの結集をお願いしたい。」と

の挨拶に続き、ご来賓として駆けつけていただいた、自治労北海道本部・蒲池財政局長、全道序労連・千葉執行委員長、社保労連中央本部・山内書記長、社保労連東北地本・佐々木執行委員長、社保労連倶楽部・野尻会長挨拶を受け、今後の連携強化を確認した。

その後、一般経過報告、「2014年度活動方針(案)」等の議案について提起・可決され、今後も地本と各単組が連携して運動を進めることを確認し、議事が終了した。

なお、今総会をもって、岩執行委員長、山崎・古川・馬場の3名の副執行委員長、小林財政局長が退任し、新執行部体制(左表参照)承認された。最後は、山上新執行委員長の団結がらんぼうで閉会した。

## 互助会会員の皆さんへ

### オプション検査等の助成金等の項目がさらに充実しました!!

全道からの評議員参加のもと、評議員会を開催し、各種給付などの充実について確認・承認がされました。主な給付は以下のとおりです。

- 《給付事業内容》
- ◆結婚祝金 50,000円
  - ◆出産見舞金(一子につき) 50,000円
  - ◆死亡弔慰金
    - 【会員本人】 50,000円
    - 【配偶者】 20,000円
    - 【被扶養者】 10,000円
    - 【扶養者以外の父母】 10,000円
  - ◆人間ドック検診助成金 上限10,000円
  - ◆健康診断・オプション検診等 全額助成
    - 胃腸X線検査/大腸がん検査/子宮がん検査/胸部X線検査/肺がん(喀痰)検査/乳がん検査/前立腺がん検査/インフルエンザ予防接種

～詳しくは分会役員にご確認ください～



全道序労連 千葉執行委員長

全道序は独自給与削減に加え、国の強制によるさらなる削減が予定されている。労組活動が制約される中だが、知恵を出しながら取り組みを進めていく。社保の仲間も自治労に結集しともに頑張ろう。



自治労北海道本部 蒲池財政局長

参院選挙協力について感謝。給与削減について政権交代により厳しい情勢。原発署名等も重要な取り組みであるので社保労連と連携して取り組みを進めていきたい。



社保労連倶楽部 野尻会長

社保労連の運動について社保労連倶楽部としても協力できる部分は協力をしたい。職場状況が厳しいが頑張りたい。



社保労連東北地本 佐々木執行委員長

社保労連だけでは解決できない課題は、自治労等との大きな輪で組合員と家族を守る取り組みをともに進めよう。



社保労連中央本部 山内書記長

国では労働者を無視した議論が行われ、消費増税も大企業の減税に使用される懸念。政治学習が重要であり年金改正の議論も注視しながら意見反映していきたい。

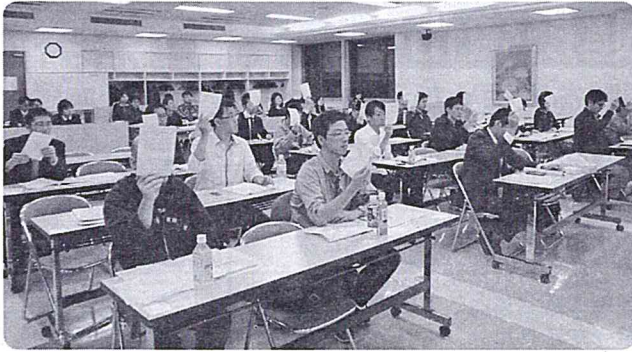
## 来賓あいさつ

# 分会活動の活性化を

ねんきん機構労組 定期大会で運動方針確認

## ねんきん機構労組北海道地方本部 第6回定期大会

ねんきん機構労組北海道地方本部第6回定期大会は、代議員・傍聴など54人の参加で開催され、今後1年間の活動方針等について可決された。また、大会討論では、有期雇用職員の処遇改善、組織強化など、3分会の発言により方針の補強がされた。



冒頭、岩執行委員長より、「来年度も組合員が肌でメリットを感じられる労働組合運動を頑張るということを確認していきたい。組合運動はマネジメント能力の強化にもつながる良い経験なので運動に参画したく方を増やしながら活動してほしい。業務課題については、機構中期計画の最終年度で様々な業務が輻輳しているが、地本として国民年金第3号不整合問題について緊急申し入れを実施した。記録問題についても厳しい状況が予想されるため、状況に応じて対応をお願いする。また、健康安全衛生は重要な取り組み。役員は超勤等の状況にアンテナを立てて対応願いたい。私は今大会で退任するが新体制の中で良い雰囲気や地本と分会で築きながら頑張っていた。『たたき』と挨拶し、引き続き北海道地本へ結集を求めた。

続いて、来賓挨拶として、ねんきん機構労組山口副執行委員長、柴野執行委員から、激励の挨拶を受けた。その後、執行部から一般経過報告と運動方針案をはじめとした議案を提案。質疑・討論では、事務センター分会の滝澤代議員をはじめ3人の代議員から方針の補強がされ、答弁では傍聴で参加されていた中央本部の芳賀執行委員長から経過を含めた説明がされた。最後に、新役員体制が下表のとおり承認され、議事を終了した。

### 2014年度 執行体制

執行委員長

山上 直久 (札幌北)

副執行委員長

滝澤 伸弘 (事務C)  
長谷川 久晃 (旭川)

書記長

西川 和也 (新さつぼろ)

書記次長

吉田 毅 (函館)  
三宅 隆平 (札幌北)

執行委員

木田 利枝 (新さつぼろ)  
千徳 雅宏 (事務C)  
岡本 恵実 (新さつぼろ)  
西田 匡泰 (旭川)  
吉川 和志 (苫小牧)  
濱田 直彦 (釧路)  
高橋 勇紀 (岩見沢)

1年間、よろしくお願いします!!



ねんきん機構労組 柴野執行委員

近畿地本としてもこの一年間組織強化・拡大の取り組みを進めてきた。9月には総決起集会を開催し、200名の仲間が結集し、団結を図った北海道地本とともに全国の先頭に立ち取り組みを行っていく。



ねんきん機構労組 山口副執行委員長

労組の取り組みでライフサポート休暇などを勝ち取ってきた。一つひとつの運動が重要。中央執行部も引き続き頑張っていくので引き続き北海道の組合員皆さんの協力をお願いしたい。



西田代議員 (旭川分会)

現在の機構業務は有期雇用職員の頑張りでごなしている。雇止めなどになれば、知識・経験が失われるため機構組織の大きな損失となる。安定した雇用についてさらに取り組むべき。



滝澤代議員 (事務C分会)

事務センターは、職員の内入れ替えが多く組織拡大が厳しいが、加入勧奨を行なう者を決めて、昼食時間での勧奨などで徐々に加入者が拡大しつつある。北海道の組織率に影響する分会であるので今後も頑張る。

来賓あいさつ

大会 討論

### 退任役員の方、お疲れ様でした



写真は、退任する岩執行委員長(右)、山崎副執行委員長(中央)、古川副執行委員長(左)。退任役員は他に、小林書記次長、新谷執行委員。



濱田代議員 (釧路分会)

国民年金課では厳しい状況が報告されている。課長の不在・担当者の経験不足で国民年金課の職員が疲弊している。国民年金第3号不整合事務等で定員が不足しているため業務量に見合った定員配置をさらに追求すべき。